



# バッハの森通信

第153号  
2021年  
10月20日発行

一般財団法人バッハの森

〒300-2635 茨城県つくば市東光台2-7-9 <http://www.bach.or.jp>

☎ 029-847-8696 / Fax 029-847-8699 e-mail: [info@bach.or.jp](mailto:info@bach.or.jp)

郵便振替 00380-4-16119 一般財団法人バッハの森

## 一子先生と奏でたクリスマス

### 美しくも楽しいライブ

9月初めまで新型コロナのデルタ株による急速な感染拡大が全国に広がり、緊急事態宣言が茨城県にも及んだので、バッハの森の「秋のシーズン」は、予定を3週間延期して10月1日に始まりました。このため7月11日の「夏休みの音楽会」以後12週間、長い夏休みが約3ヶ月も続きました。この間に起こったことを本号4頁の「日誌」で報告しましたが、そこに「石田一子のオルガン演奏の再生」という5回の相談会があります。これは新しいプロジェクトの始まりなので、ここにその目的と進行状況を説明し、皆さんのご参加をお待ちします。

\* \* \*

まず「石田一子とは誰？」と言う方に説明しておきましょう。彼女は13年前、2008年12月30日に癌のため79歳で亡くなったバッハの森のオルガニストですが、同時にバッハの森の創業者です。彼女が相続した土地の売却代金、2億3千万円を主要な財源としてバッハの森は設立されました。それに彼女は、私、石田友雄の妻であり、親友でした。より詳しく知りたい方は、2009年4月20日発行の『バッハの森通信』第102号2～11頁に掲載した「石田一子が生きた命と私たちの命」をご覧ください。

諸々の経緯は上記の文章にまかせて、1971年に私たちがエルサレムで結婚したことが、バッハの森の始まりになりました。彼女がエルサレムのドイツ・贖い主教会のオルガニストを務めたのは、わずか4年足らずでしたが、その間に実に多くことをしました。まずドイツ人牧師を説得して、オルガン・コンサートを開きました。彼がコンサートに乗り気でなかった理由は、多様な文化的背景を持つ人々が住むエルサレムの特

殊性でした。アラブ人クリスチャンはこの種の音楽に興味がありません。他方、興味を持つのはキリスト教嫌いのユダヤ人なのです。それでも何とか開いたオルガン・リサイタルは350席が満席となり、彼女の演奏が終わると感動した聴衆の拍手が鳴り止みませんでした。しかし、同時に彼らが行儀良く振る舞ったので、その後、彼女がオルガンだけではなく、少人数のユダヤ人音楽家と教会音楽コンサートを続けることを牧師は許してくれました。こうして彼女が始めた教会音楽コンサートは、エルサレムの文化的社会現象となり、私たちがエルサレムを去った後も続きました。

また一子は、テルアヴィヴのイスラエル・フィル（IPO）から要請されて、バーンスタインやバレンボイムという著名な指揮者の演奏に参加したこともありましたが、しかし、彼女がエルサレムで一番嬉しかったことは、礼拝で彼女が弾くコラール編曲やコラール伴奏に内面的な共感を示してくれたディアコニッセ（プロテスタントの修道女）たちとの出会いでした。コラールが彼女たちの愛唱歌だったのです。

キリスト教嫌いのユダヤ人でも感動する教会音楽、コラールに内面的共感をするディアコニッセ、この二つの要素を同時に実現する場所を日本に作りたいという願いが、彼女の中で芽生えました。これがバッハの森の原点になったのです。

\* \* \*

一子のオルガンを聴きたいと願う数人の方々の熱心な努力の結果、2000年から2005年のクリスマス・コンサートを録音したDATから抜粋した音楽を編集して、試聴版のCD「一子先生と一緒に奏でたクリスマス」が製作されました。斉唱、合唱、ハンドベルなどで演奏されるコラールを、彼女がオルガンの独奏と伴奏で見事に支える美しくも楽しいライブです。来年、1月8日（土）午後、このCDの鑑賞会を開くお知らせを近く発表します。（石田友雄）



7月11日に開かれた「夏休みの音楽会」で、バッハの森のメンバー有志が制作した動画「天の王子とシオン姫」を上映しました。マタイによる福音書25章1節～13節「10人の乙女のたとえ」を基に、場面に合わせた影絵を有志メンバーが手作りし、そこに、やはり有志による音楽と朗読を加えて編集した動画です。音楽には、このお話に基づくコラール「起きよと呼ばわる物見らの声あり」によるバッハのオルガン編曲と4声合唱も含まれています。

この動画はYouTubeでご覧になることができます。スマートフォンをお持ちでしたら上のQRコードを読み取って下さい。スマートフォンをお持ちでない方は、インターネットで「バッハの森 天の王子とシオン姫」と検索してみてください。動画が見つかるはずですよ。



昔々、天の王国の王子がシオン姫と結婚式をあげるため、エルサレムの都に来られることになりました。

大喜びした都の人たちは準備を始め、10人の乙女たちに都の入り口で花婿をお迎えする役目を与えました。



こうしてみんなで花婿を待っていましたが、花婿の到着が大変に遅れ、ついに夜中になったので、みんな眠くなり寝込んでしまいました。

しかし、都を取り囲む城壁の上の見張りの塔には、眠らずに花婿の到着を見張っていた見張りたちがいました。

そして、真夜中になった時、寝静まった都に、見張りたちの声が響き渡りました。

「花婿が来られた！お迎えに行け！みんな身支度して結婚式の準備に取り掛かれ！」



10人の乙女たちもみんな寝込んでいましたが、賢い5人の乙女たちは予備の油を持ってきていたので、ランプの灯をともして、花婿をお迎えに出ていきました。しかし、予備の油を持ってこなかった5人は、ランプの灯が消えてしまったので、花婿をお迎えすることができませんでした。



さて、シオン姫も眠っていましたが、見張りたちの叫ぶ声を聴くと目覚めて飛び起き、喜びで心が弾みました。

天の王国から華やかに来られた、恵と真にあふれる雄々しい花婿をお迎えして、花嫁は叫びました。

「さあ来てください、あなた、尊い花婿様。ホサナ」



そして、都の人たちも、花婿に向かって声をそろえて言いました。

「私たちはみんな、あなたについて喜びの広間に行きます。そして一緒に、お祝いの晩さん会にあずかせていただきます。」



終わりに、花婿も花嫁も、都の人たちも、みんなで天の王国をたたえて歌いました。

「グローリア！天の王国に栄光があるように、地上の人々みんなに平和があるように！」

<スタッフ>

オルガン独奏：宮本とも子

ポジティブ・オルガン：比留間恵

リコーダー：深谷律雄／朗読・太鼓：岩渕倫子

合唱：バッハの森クワイア／合唱伴奏：鈴木由帆

影絵制作：比留間恵・別所香苗／編集：別所直樹

脚本：石田友雄

## 有り難うございました！

2021年10月3日

友雄様、バッハの森の皆様

ようやく皆様の親切なご挨拶に感謝のご返事ができます。皆様のご挨拶のカードが、私の60歳の誕生日の前日に着いたので、本当に驚きました。お一人お一人の書いてくださったことに感動しました。有り難う！

私たちの地方では7月終わりに夏休みが終わり、この2ヶ月間、沢山仕事がありました。コロナ禍はやや落ち着き、合唱練習が外でも大聖堂でも出来るようになりました。今年は二つの祝典を祝っています。850年前、1171年にシュヴェリンの最初の大聖堂が奉献され、150年前に私たちの歴史的なラーディガストの大オルガンが初めて演奏されました。そこで、祝典に関連する沢山のコンサート、講演会、集会、礼拝などがありました。聖歌隊は一年半ぶりにコンサートを開き、ヴィヴァルディの「グローリア」とシャルパンティエの「テ・デウム」を歌うことが出来ました。ようやく優れた音楽を演奏して素晴らしい感動を味わいました。9月3日には、オルガン奉献記念に合わせて、この

地方の5人のオルガニストがラーディガスト・オルガンで大オルガン・コンサートを開きました。また8月には、8人の若いオルガニストがオルガン・コンサートを開きましたが、彼らはかつてシュヴェリンで私が教えた人たちで、今は立派な教会音楽家に育っています。そこで楽しい再会になりました。

これから数週間はこの調子でしょう。今のところ状況は落ち着いていますが、冬どうなるか誰も分かりません。10月に礼拝でもう2曲、カンタータを歌います。その他にバッハの「Sei Lob und Ehr dem höchsten Gut」 「いと高き善き者に讚美と栄光があるように」(BWV 117) と、12月には多分「クリスマス・オラトリオ」です。

皆さんがバッハの森で活動を続けていらっしやることを喜んでます。送ってくださった宗教音楽コンサートのプログラムを楽しく読ませていただきました。次の数ヶ月にもいろいろなことを願っています。この特別な季節を楽しく、お元気にお過ごしてください。

友雄さん、あなたがバッハの森で多くのことをなさっていることを大変嬉しく、感動しています。私はこのことに大変驚き、さらに続けてゆかれることを願っております。同時に健康と力に恵まれて！

マインデルトも心からご挨拶を送ります。

変わらないきずなのもとに、あなたたちのヤン

## 日誌 (2021. 7. 1~9. 30)

\*R: オンライン参加

- 7.11 **夏休みの音楽会**  
参加者 11名 (大人) +9名 (子ども)  
出演者 18名、受付、カメラ3名、計41名。  
**取材** 『常陽芸文』  
大貫光宏氏、新垣宏久氏。
- 7.16 **中庭草取り** 参加者 3名。
- 7.17 **運営委員会** 参加者 10名 (R3)。
- 7.29 **発送** 『バッハの森通信』第152号
- 7.30 **相談会** 石田一子のオルガン演奏の再生  
参加者 3名。
- 8.9,29 **相談会** 石田一子のオルガン演奏の再生  
参加者各5名。
- 8.12,16 **外周剪定** 2名、1名。
- 8.27 **交換** 富士フィルム (コピー機)
- 9.1 **報道** 『常陽芸文』9月号、14~15頁  
「いばらき 音の風景」
- 9.2 **急告** 秋のシーズンの開始を9月10日から  
10月1日に延期  
**発送** 『2021年・秋のシーズンのご案内』  
改訂版
- 9.10 **中庭、外周草取り** 参加者各3名。
- 9.10,24 **相談会** 石田一子のオルガン演奏の再生  
参加者2名、3名。
- 9.26 **オルガン試奏**  
小島弥寧子氏、高橋博子氏、宮本とも子氏。

## 学習コース

**ハンドベル・リンガーズ** 7.4/9名、9.19/8名。  
**オルガン、クラヴィコード、チェンバロ練習**  
7.3/2名、7.8/1名、7.9/3名、7.10/1名、  
7.11/1名、7.17/1名、8.3/1名、8.5/1名、  
8.6/1名、8.12/1名、8.26/1名、8.27/1名、  
9.2/1名、9.3/2名、9.7/1名、9.9/2名、  
9.10/2名、9.12/1名、9.15/1名、9.17/3名、  
9.22/1名、9.24/1名、9.25/1名、9.28/1名、  
9.30/1名。

## 寄付者芳名 (2021.7.1~9.30)

## 建物維持積立寄付

下記の方々から計 38,000 円のご寄付をいただきました。

## オルガン修理積立寄付

下記の方から計 20,000 円のご寄付をいただきました。